

輝け！私たちのファッションショー

文化新聞

6月号⑰

【発行・編集】

委員長 本道睦穂

副委員長 梨本あかり



三年生女子部のファッションショーの準備をインタビュー形式で取材しました。インタビュに答えてくれた方、撮影を快く承諾してくれたクラスの皆さん、準備中でお忙しいところ、ご協力いただきありがとうございます。

二年一組

二年一組はスカートのグラデーションにこだわって作った。テーマの「輝く未来」に寄せて決めたクラスのテーマは「鏡花水月」(きようかすいげつ)。このテーマには「手の届かない未来」という意味があり、憧れの人になれるように頑張って努力している自分は輝いているというメッセージが込められています。居残ってわちゃわちゃ話ながら作業をするのが楽しかったそうだ。大変だったことはドレスのレースで、薄いため、優しく扱わないといけないことが多かった。観客の皆さんへは、「全ての穴開いてみててください！」とメッセージを残した。



二年二組

二年二組がこだわったことはモデル五人それぞれの個性を表現することです。テーマに寄せてやったことは幻想を思い浮かべながら制作することだ。自分の世界をイメージしながらそれを服にあらわれるようにした。服には見た人の中に新しい世界が生まれますように。という思いを込めた。イメージ図が立体的に完成していくのが楽しかったそうだ。みんなで作って一致団結できたことが良かったそうだ。観客の皆さんへは、「一生懸命作ったので楽しんでみてね！」とメッセージを残した。

二年三組

二年三組がこだわったことは、デイズニープリンセスの色どりを再現したことだ。テーマの「輝く未来」はデイズニープリンセスが輝ける場を提供することで実現させている。ベルのリボンは四つ作った。全然違うチームごとに作ったので、協力してほかのチームの情報を得て、自分たちの衣装に交えた。二年三組の生徒のひとり手袋を作れなかったときやミシンが使えなくてスカートの作れなくて困っていた時にチームの仲間が助けてくれたから助かった。と言っていた。観客の皆さんへは、「ステージに立つ人の華やかな衣装と小物に注目してみてください。観客の皆さんへは、「全ての穴開いてみててください！」とメッセージを残した。

編集後記

デイズニープリンセスのことは全然知らなかったけれど色とりどりの衣装はプリンセスの輝きを想像させそうでした。クラステーマの鏡花水月の意味を聞いた時、輝く未来と憧れを組み合わせて意味を作っていたのが印象的でした！共に助け合って作っている話を聞き、このままクラスのテーマに向かって最後まで作りきってほしいと思いました。私も困っている人がいたら手を差し伸べたいです。